

キャラクター名  
西園寺 貴音

プレイヤー名

シンドローム	バロール		ワークス	UGN支部長C	カヴァー	
	バロール					
オプション		年齢	18	性別		
覚醒	償い	衝動	加虐	初期侵食率	33	%
出自	義理の両親	経験	大事故	邂逅		

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	0	0	1			1	行動値	9
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	9
精神	4	1	0			5	戦闘移動	14
社会	2	0	0			2	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	5		交渉		
回避			知覚			意志	2		調達	1	
運転:			芸術:			知識:	2		情報: UGN	3	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
対抗種	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
黒の鉄槌	2	1	メジャー	視界		RC		
効果: 攻撃力+LV*2+2の攻撃 自身と同エンゲージにいるキャラを対象にできない								
黒の咆哮	5	4	メジャー				80↑	
効果: 攻撃力+LV*4 その攻撃の判定ダイスを-2								
コンセントレイト:バロール	3	2	メジャー					
効果: クリティカル値-Lvする。(下限値7)								
黒星の門	1	2	メジャー			シンドローム		
効果: 自身と同エンゲージにいるキャラを対象にできないと記載されていても使用できるようになる 判定のダイスを+LV+1個する								
紡ぎの魔眼	5	1	オート	至近	自身			
効果: 判定を行う直前に発動可能。判定ダイスを+LV個 R1回								
時の棺	1	10	オート					
効果: 相手が判定を行う際発動できる。その判定は失敗となる S1回								
因果歪曲	3	3	メジャー			シンドローム		
効果: 組み合わせたエフェクトを範囲(選択)にする。同エンゲ不可 1SLLV回								
帝王の時間	1							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

自信満々で人を見下したような喋り方をする。  
努力家で、実力のあるものは認める。潜在能力と仕事熱心なところを買われ支部長に  
魔眼の力を100%出せずにいる。過去のトラウマが原因のようだ

追記設定  
昔、弟を亡くしている。弟は彼女より先に覚醒しオーヴァードとなっていたが衝動に飲まれジャム化。その時にはもう半覚醒状態であり、意識があった彼女は駆け付けたUGNエージェントによって弟が処理される姿を目の前で見ている。  
もっと自分が頼りになる姉であれば。そう思った彼女は覚醒してしまったのかも知れない。  
その後学園に通いながらUGNチルドレンとして活動していたが、ある事件で親友だった相棒が自分を守るために力を使いすぎ、ジャム化してしまう。  
衝動に飲まれ、別人ようになってしまった親友をただ見つめるしかなかったが、自分に親友が襲い掛かるうとしたとき咄嗟に反応し殺害してしまう。  
親友を殺した自分を責めていたが、周りからはよくやったと賛美され。彼女は自分に言い聞かせるようになった  
「ジャムを処理することは私たちの仕事。仕方ない、仕方ないこと。仕方ない仕方ない」  
それから彼女はジャムを処理することにためらいがなくなり。実力も認められ支部長に任命された。  
親友の事件のあと、彼女は仕事に集中したいからと学校をやめている。実家の仕事を継ぐことになっているのと、学力等の問題もないため将来に不安はない  
力も無意識に抑えているため本来の力を出せずにいる。彼女は力を使うたび、弟と親友のことを思い出すためとつもないストレスに襲われる。(彼女は疲労と言っている)

アイドル: 頼りになる仕事仲間。しかしあまり関係を深くして親友と同じことになってしまったらと一歩引いている  
お嬢: 危なっかしい部下。飾らないあなたのほうが好きよって感じ  
ファク: 部下。支部員との関係を見て少し昔を思い出す時がある